

1. 対象製品

太陽光発電架台用支持瓦(F形棧がわら)

略称：CJK 支持瓦

2. 標準(共通)化の部位

住宅の瓦葺き屋根に、太陽光発電モジュールを設置するための固定金具取付けに必要なF形棧がわらタイプ支持瓦の開口部の標準(共通)化部位を図1～8に示す。

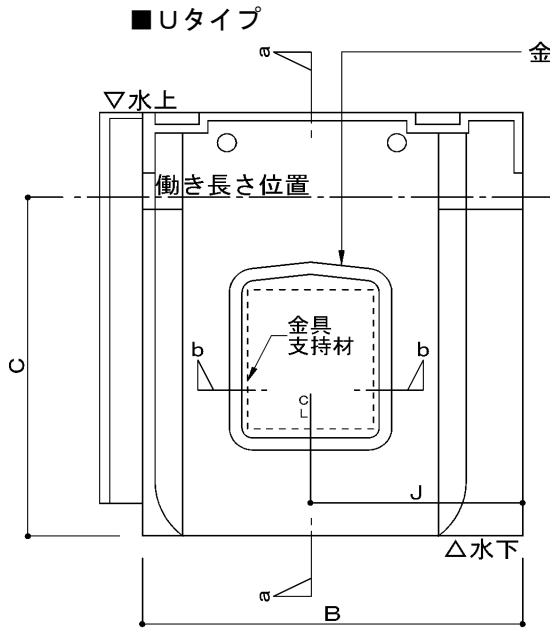


図1-Uタイプ平面図

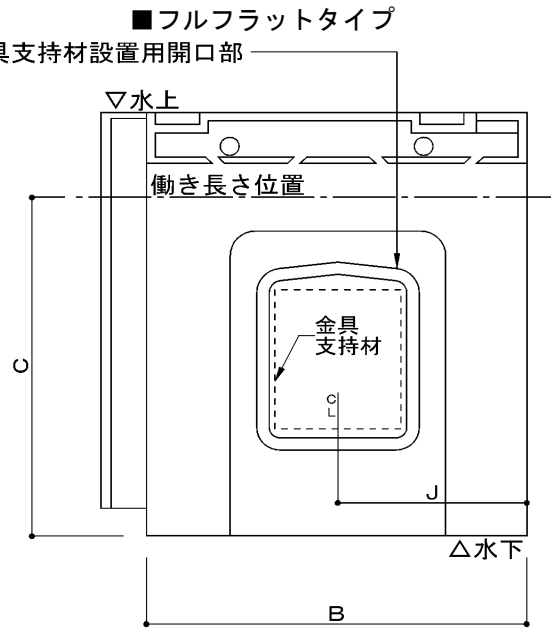


図2-フルフラットタイプ平面図

■ 開口部断面(Uタイプの例)

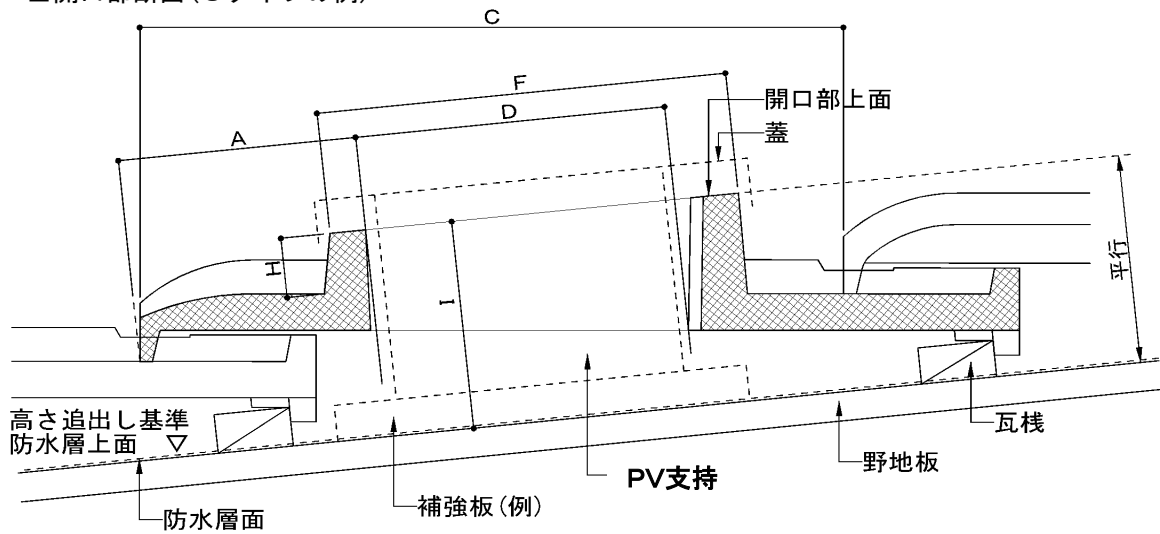


図3-a-a断面図

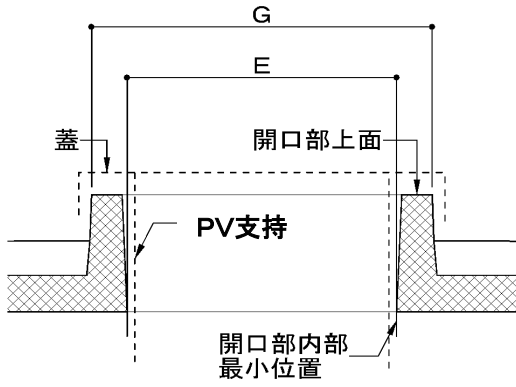


図4 - b-b断面図

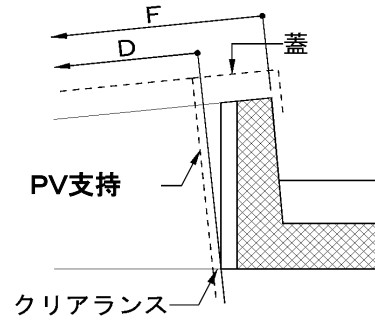


図5 - c-c断面図

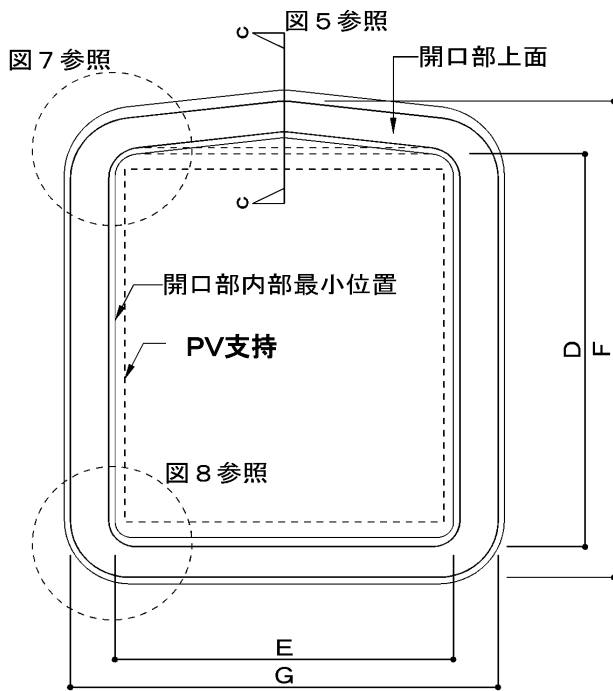


図6 - PV支持材設置用開口部平面図

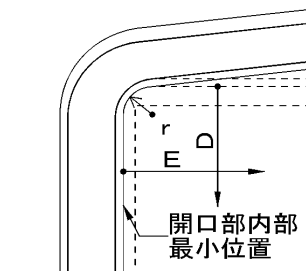


図7 - 開口部水上部コーナー平面図

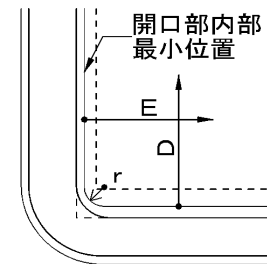


図8 - 開口部水下部コーナー平面図

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| A : 開口部上下方向位置  | G : 開口部上面外周部幅        |
| B : 働き幅        | H : 支持瓦上面～開口部上面(水下部) |
| C : 働き長さ       | I : 防水層上面～開口部上面高さ    |
| D : 開口部内部長さ    | J : 開口部センター位置        |
| E : 開口部内部幅     | r : 開口部内部コーナー曲率半径    |
| F : 開口部上面外周部長さ |                      |

### 3. 寸法・形状

前項図中の寸法、形状については、表1に規定する数値とする。

表1—各部位の標準寸法

単位：mm

項目	寸法		備考
	Uタイプ	フルフラットタイプ	
A：開口部上下方向位置	$83 \leq A \leq 87$		
B：働き幅	$300 \leq B \leq 306$		
C：働き長さ	280		
D：開口部内部長さ	$\geq 123$		開口部内部最小長さ
E：開口部内部幅	$\geq 106$		開口部内部最小幅
F：開口部上面外周部長さ	$\leq 163$		開口部上面外周部最大長さ
G：開口部上面外周部幅	$\leq 134$		開口部上面外周部最大幅
H：支持瓦上面～開口部上面(水下部)	$\geq 20$		
I：防水層上面～開口部上面高さ	86		
J：開口部センター位置	$158 \leq J \leq 179$	$145 \leq J \leq 170$	働き幅により異なる
r：開口部内部コーナー曲率半径	開口部内部最小位置のコーナー曲率半径 r は、PV支持材(最大断面寸法100×115)とのクリアランスが3mm確保できる寸法とすること		

### 4. 表示方法

印刷物・電子媒体に、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。

または、“CjK”マークを表示する。

製品への表示は任意とし、表示を行う場合は、梱包又は製品裏面に

長期使用対応部材であることを表示する。または、“CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 関連部材の具備すべき条件

- ・本基準書で規定している支持瓦の開口部は、関連部材(PV支持材)を下記の基準寸法とし、設定を行っている。

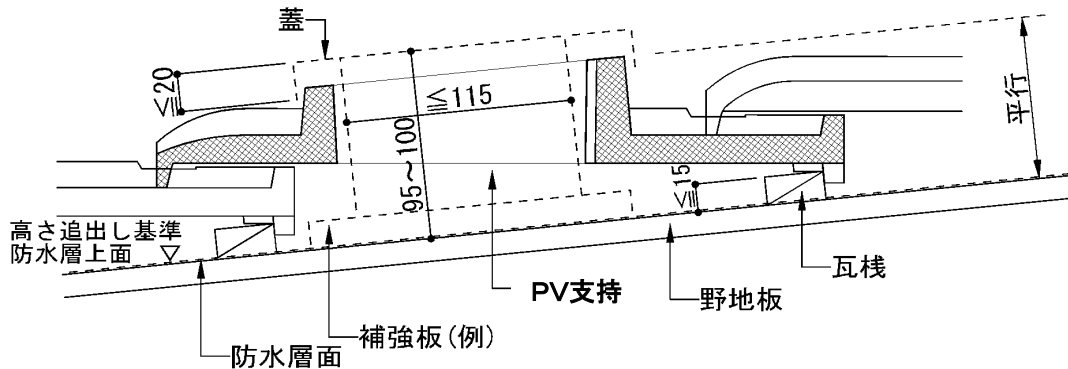


図9—関連部材基準寸法(1)

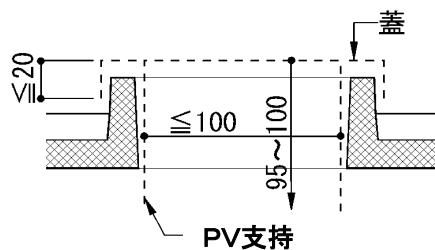


図10—関連部材基準寸法(2)

## 5.2 金具支持材と開口部のクリアランス

- ・PV支持材が、開口部内部最小位置に干渉しないために、クリアランスは3mm以上とする。

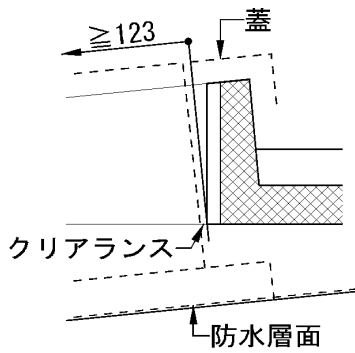


図11—開口部内部長さ寸法基準図

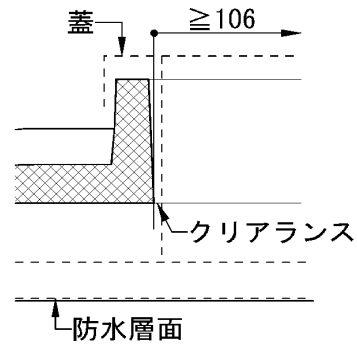


図12—開口部内部幅寸法基準図

## 5.3 開口部上面角度

- ・狙い値として、野地板面平行とする。

## 5.4 本基準書で規定されている固定寸法は、狙い値とする。

## 6. 解説

本基準書は、CJK粘土瓦（F形棧がわら）を対象とし、太陽光発電モジュールを設置するための固定金具取付けに必要となる、開口部の標準化を行った。

### a) 開口部の上下方向、左右方向寸法基準

- ・左右方向離れ寸法の追出し基準位置は、支持瓦右側から開口部センターとする。
- ・支持瓦表面の谷部分センターを、開口部センターに合せた。

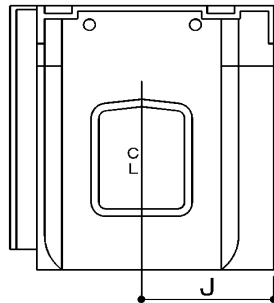


図13—左右方向離れ規定図

- ・上下方向離れ寸法の追出し基準位置は、支持瓦水下先端からとする。

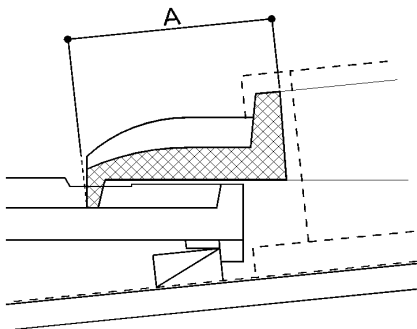


図14—上下方向離れ規定図

### (注1)

開口部内部最小位置の瓦水下先端からの追出し基準寸法は、A寸法(83mm~87mm)の範囲とする。

b) 開口部高さの追出し基準面

- ・ 野地板面に施工する防水層上面を、高さ追出し基準面とする。

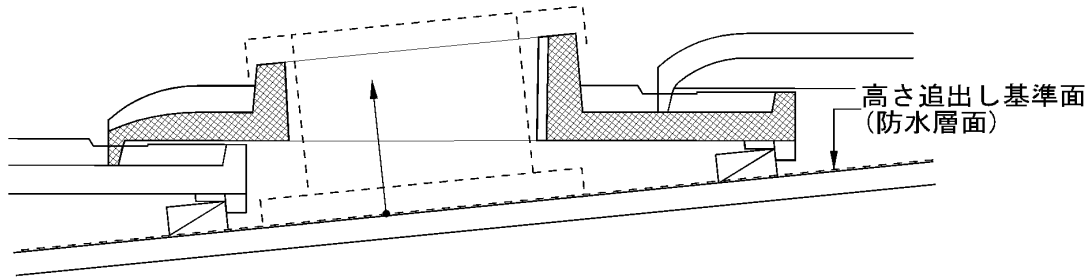


図15—高さ追出し基準面位置

c) 開口部の水上部形状

- ・ 雨水等の流れを考慮し開口部頂部は、斜め形状とする場合がある。

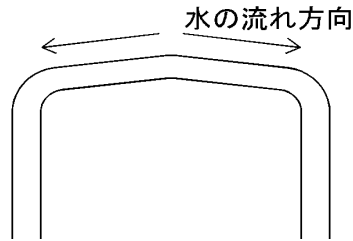


図16—開口部水上形状図

- d) 支持瓦の働き幅寸法は、交換・差替え等を考慮し、寸法規定を行った。

e) 支持瓦上面から開口部上面高さ

- ・ P V支持材上部に設置する蓋のかぶりを考慮し、H寸法(20mm)以上とする。

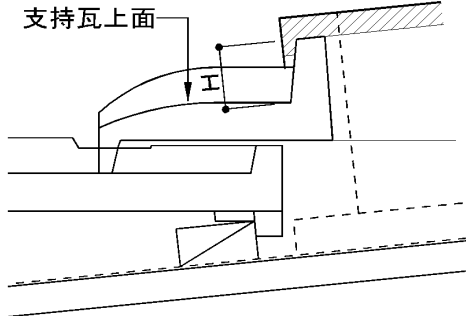
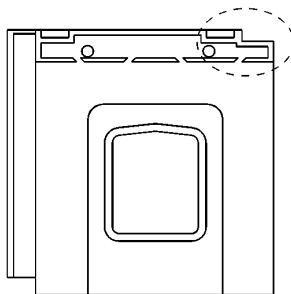


図17—蓋取付け参考図

f) その他

- ・ 本基準書は、太陽光発電モジュールを設置するための固定金具取付けに必要となる、支持瓦の開口部の標準化を行っているため、規定されている寸法・形状を満たしていればCJK支持瓦とみなす。



(注3)

本基準書で規定されている形状・寸法以外は、JISのF形棧がわりに規定する寸法形状を満足する限り可とする。

※切り欠き加工が必要な場合がある。

図18—切り欠き加工の例

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

- ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

- ・交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

※専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

## 8. 改訂履歴

### 8.1 2014年3月20日改訂

- ・対象製品、略称の改訂
- ・5.4の文章変更
- ・”6. 解説”開口部センター位置寸法の規定、開口部水上形状解説文面変更
- ・”7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
- ・符号、書式の統一

### 8.2 2016年4月28日改訂

- ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・表1の寸法基準値範囲を不等号表示に変更
- ・7.1寸法について記載内容改訂